令和6年度　第4回理事会議事録

開催日時：令和6年8月2日（金）13:30～14:30

開催場所：山口県総合保健会館1F　保健指導室

出席者：三輪光良　丹羽英彰　小池正紘　河村裕介　渡邊征二　真野忍　峯重正紀

安光由希　森田慎吾　伊藤匡　德永昌久　田村清志　神原学　木村茂裕

沖本義則　嶋田敬子　原田昌彦

出席者（監事）：大平知之　齋藤茂治

欠席者：佐野裕一 藤河剛志

オブザーバー（事務職員）：楠本しのぶ

以上、定款第３３条の規程により理事の過半数の出席で理事会は成立。会長　三輪光良が議長となり、定款第３４条に基づく出席者の中より、議事録作成人として沖本義則理事、議事録署名人として安光由希理事、森田慎吾理事を選出した後、次の議案を付議した。

**【議案】**

**（１）後援依頼の承認**

三輪会長

「循環器病対策県民フォーラム」と「リレーフォーライフジャパン2024やまぐち」より山口県診療放射線技師会に対し後援依頼の申入れがあった。リレーフォーライフジャパンについては毎年後援を行っているが、循環器病対策県民フォーラムについては昨年度も後援依頼をいただいたが急な申し入れのため断った経緯がある。両イベントとも当会と活動の方向性が近いことと、様々なイベントにて当会の名称を発信する意味は大きいと考え、両者の後援をしたいと考える。

真野常任理事

後援とは、具体的に何を行うのか。

三輪会長

共催・協賛・後援取扱規程に「事業の趣旨に賛同し適当な方法で広報を実施するなどの支援を行う、または支援を受けることをいう。支援の内容としては、原則として名義使用の承認に限る」と掲載されており、資金や物品等の援助は行わない。

賛成　17人　　反対0人　　保留0人

議案１　後援依頼の承認について、賛同された。

**【報告連絡事項】**

**（１）来年度総会の進捗状況について**

田村理事

会場として、下松中央公民館2階サルビアホールを2025年5月17日（12時～17時）、18日（9時～17時）にて確保している。収容人数は200名程度である。

県民公開講座の特別講演として、最近下松で埴輪が出土しており、それに詳しい市職員の方に依頼しているが、まだ返事はいただけていない。

三輪会長

　下松市の後援は取れているか。

田村理事

　市への後援依頼は未着手のため、今後対応させていただく。

**（２）事業報告**

**２−１　技師長・中堅者ミーティング**

小池副会長

6月15日に技師長・中堅者ミーティングを開催した。当会の取り組みとして、診療で使用する各種同意書の共通テンプレートを作成する案を紹介し、入会メリットをPRした。

また、技師長・中堅者間の情報共有方法としてメーリングリストの作成を行った。

**２−２　胃がん部会講習会**

森田理事

6月22日に第1回胃がん講習会をzoomにて行った。講師は、胃がん部会委員による教育講演と症例検討を行った、参加者は37名であった。

**２－３　フレッシャーズセミナー**

伊藤理事

7月21日に総合保健会館にてフレッシャーズセミナーを開催した。参加者は11施設16名で、内容については昨年同様7項目の講義を行った。収支は、講師関連で112,520円の支出、JARTより講師関連補助金として83,420円の収入となった。

今回のセミナーを通した改善検討案件として、セミナーの案内発信をHPとFAXにて行っているが、FAXの場合、印字の質により氏名等の情報が読み取りづらいケースがあった。今後は、施設代表者のメーリングリストを作成し、本リストを活用した案内送付や出欠確認を検討していただきたい。

三輪会長

各施設のメーリングリストを作成出来るよう努めたい。

**２－４　夏季講習会**

峯重理事

7月28日に総合保健会館にて夏季講習会をハイブリッドにて開催した。事前登録は100名を超えたが、実際に視聴された人数はまだ確認できていない。講演は能登半島地震でのDMATや救護活動をされた会員より報告を行なった。

三輪会長

コロナ禍ではWebによる講習会がメインであったが、今回の講習会はハイブリッドで行った。今後の講習会のあり方として、現地にて直接コミュニケーションを取りたい方や、Webのみ参加可能な方など、様々なニーズに対応できる運営を行っていかなければならない。

真野常任理事

講習会の参加人数を増やすことはとても重要である。後述するが、県の受託事業として当会事業の拡大（講習会増）を求めていくのであれば、今後更なる実績を積み上げる必要がある。地域理事の皆様には、率先して講習会の情報発信を各地域で行っていただきたい。

**（３）次回理事会までの予定**

三輪会長

次回理事会は12月を予定しており、それまでの事業予定は次のとおりである。8月17日に「第2回胃がん講習会」、9月7日に教育委員会と合同で愛媛県にて「中四国会長会議」を行い、三輪会長と伊藤理事が参加する予定である。10月は、愛媛県伊方原発の災害を想定した愛媛県と山口県合同の「原子力防災訓練」を行う予定であり、今年も保健師を対象としたサーベイ行為の指導として2～3名の診療放射線技師を派遣する予定である。活動の継続性の観点からサーベイに熟知した会員がおられたら紹介いただきたい。10月26日「第3回胃がん講習会」、10月18日「中四国会長会議」、10月19～20日岡山県コンベンションセンターにて「CSFRT」が開催され、10月31日～11月3日沖縄コンベンションセンターにて「第1回日本診療放射線医療技師学術大会」がJARTとJSRT合同開催される。

10月27日～11月23日のレントゲン週間では、例年通り保健会館にてパネル展示を行う予定である。11月17日に「秋季講習会」をハイブリッド開催、11月30日に「告示研修を」行う。告示研修は来年度で県内開催を終了する予定であるため、未受講者への周知をお願いしたい。

その他、会費の納入期限が9月30日までとなっており、納入実績に応じてJARTからの委託金の交付額が決定されるため、期日までに納入いただけるよう周知をお願いしたい。

真野常任理事

レントゲン週間のパネル展示に関して、期間中の理事の動員はあるのか。またパネルを新設する予定はあるか。

三輪会長

展示のみの予定をしており、会員の立ち合い等は予定していない。パネルは過去の物を流用し新設する予定はない。

**（４）ホームページについて**

三輪会長

現在まだ契約には至っていない。山口県臨床検査技師会と契約したHPメーカーに対して契約を進める予定であるが、当会としてHPでどこまでの機能を持たせたいか等の具体的な検討を行う必要がある。理事のみなさまには他団体のHP等を閲覧し、今後意見をいただきたい。現在、YARTやJARTからのお知らせやイベント、会費納入の告知等の機能を付与することを考えている。さらに、会員専用ページを作成し、会誌に相当するコンテンツも提供していきたい。今後の予定として、HP委員会を開催し、今年度中に契約まで行ければと考えている。

真野常任理事

HPリニューアルは、会誌代替としての役割があると認識している。そのため、会誌相当あるいはそれ以上の情報を分かりやすく発信することが重要で、HP上での情報の見せ方が要と言える。現在、JARTが行なっている会誌デジタル版の機能（ページをめくる等の機能）を持たせることは可能か。

三輪会長

JART相当の機能を持たせることは、予算の観点から難しいと考える。

真野常任理事

PDFを貼り付けるだけの機能であれば現行と変わらない。会誌をHPへ完全移行するのであれば、費用を踏まえた上でのHP充実を図っていただきたい。

三輪会長

現在、企業の広告料の減額や物価の高騰により、会誌発行の費用増が問題となったためHPリニューアルを掲げた経緯がある。会誌をHPへ完全移行するうえで、予算の範囲内で充実したHP運用ができるよう努めていきたい。

**（５）連絡協議会について**

三輪会長

連絡協議会の議題は以下（1〜5）のとおりである。

1、診療放射線技師の養成学校設置に関する情報提供のお願い

2、告示研修受講率の確認について

立ち入り検査時受講率を確認していただく事で受講を促していきたい

3、乳がん部会講習会について

胃がん部会同様、県の事業として委託いただけるよう交渉したい

4、出前授業について

診療放射線技師をアピールしつつ、県の活動があれば協力していきたい

5、各がん部会からの活動報告

連絡協議会の場で結論を出す事は出来ないと考える。持ち帰って議論して頂けるような協議を行いたい。

真野常任理事

議題３.乳がん部会講習会を協議するにあたり、議題順序を変更（1⇒2⇒5⇒3⇒4）してみてはどうか。

三輪会長

了承した。議題５.活動報告を行なった後、乳がん部会講習会の議論を行うこととする。

真野常任理事

県の予算が限られていることから、交渉の過程で、胃がん部会の予算を配分することで乳がん部会の講習会を行う提案をされる可能性もある。

三輪会長

胃がんと乳がんでは予算の出処が異なる可能性があり、同一予算という形は難しいと考えるが、協議会でその辺りも確認したい。

河村常任理事

県の担当者に現状の課題と診療放射線技師として協力出来ることを明確に提示することが先ずは重要と考える。

三輪会長

前回の乳がん部会講習会にて県の健康福祉部に講演いただいたが、講演の中で山口県の乳がん検診受診率が全国最下位との報告を受けた。受診率向上の観点において、当会と県が共通認識を持っていることから、両団体が協力し診療放射線技師の撮影技術向上や施設認定増を県がサポート頂けるようアピールしたい。

真野常任理事

県から胃がん予算を乳がんへ再配分するという提案があった場合を想定して、事前に理事会として合意形成を図る必要があると考える。各がん部会講習会を胃がん部会2回、乳がん部会2回などに調整できるのか。

森田理事

現行の4回/年開催の負担を踏まえ、胃がん部会各委員の意見を確認したい。

安光理事

過去に乳がん認定技師試験の県内開催に対し予算が付いていたが、現状認定試験の県内開催は難しいため、その議論は避けていただきたい。

乳がん講習会の開催数増加は、委員の意見を踏まえて検討したい。

三輪会長

今回はあくまで講習会に対する受託事業として協議するつもりである。

**（６）その他**

**６－１　山口県診療放射線技師会の学術奨励賞・学術功労賞、山口県診療放射線技師会功労賞候補者の推薦について**

渡邊常任理事

特に地域理事に対し、学術奨励賞および学術功労賞に該当する会員がいれば推薦してほしい。県独自の基準(点数制)となっており、点数制の内容など詳しくは山口県診療放射線技師会規定を参照いただきたい。表彰は来年5月総会にて行う予定であり、候補者の選出は今年度9月30日までとなっている。選出後、理事会にて審議を行う予定であり、必要な推薦書と実績書は後日メールで送ることとする。

日本診療放射線技師会功労賞についても同様に候補者の推薦を12月末日までにお願いしたい。

**６－２　CSFRT２０２４座長推薦依頼について**

三輪会長

CSFRT岡山大会に対し座長推薦依頼が当会にも届いている。前回山口県にて開催した際も各県より協力をいただいたため、選出をおねがいしたい。

**６－３　会長行動**

三輪会長

常任理事の活動報告として資料を作成した後で確認いただきたい。

**６－４　ピンクリボンinやまぐち2024の後援について**

三輪会長

後援を受諾した際、5年間有効であることから、今年度もピンクリボンの後援を行う。

**６－５　慶弔規程について**

三輪会長

家族葬の普及や結婚式祝電など現状に合わない部分もあるが、現行規定に従って該当会員がいれば連絡いただきたい。連絡先は楠本事務員までお願いする。

連絡をいただき次第祝電などは対応させていただくが、急な弔電などは対応出来ない場合がある。その場合、地域理事の方で弔電を打っていただく必要があり、弔電の打ち方は資料の通りである。費用について一時立替をお願いする場合もあるが、その際は領収書の提出をお願いする。

**６－６　JART会員限定無料コンテンツ名称募集**

三輪会長

JARTホームページの会員限定無料コンテンツの名称募集を行っている。

**６－７　JART患者説明用動画について**

三輪会長

JARTにて、CT・MRI・マンモグラフィなど患者説明用動画をYouTubeにアップロードしている。フルverとダイジェストverがあるため、各施設で利用いただきたい。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、定款第３４条に基づき、会長及び監事並びに議事録署名人がこれに記名押印する。

　一般社団法人山口県診療放射線技師会　令和6年度　第4回理事会

　　山口県診療放射線技師会　会長　　三輪光良

監事　　大平知之

監事　　齋藤茂治

　　議事録署名人　理事　　安光由希

理事　　森田慎吾